

学年	2年	教科	生活単元学習	単元名	ぼくの将来① ～カフェを開こう～
学校名	山形県立楯岡特別支援学校			実践者	鈴木 貴文
本時の学習活動	カフェのプレオープン				
ICT活用のねらい	【1 教員による活用】		【2 児童生徒による活用】		
1-2	1-1 興味関心を高める 1-2 課題を明確につかませる 1-3 思考や理解を深める 1-4 知識の定着を図る		2-1 情報を収集・選択する 2-2 文や図表にまとめる 2-3 発表したり表現したりする 2-4 知識や技能の習熟を図る		
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	デジタルテレビ パソコン ビデオカメラ				
学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> グループ学習	<input type="checkbox"/> 個別学習		
活用の場面・方法	<input type="checkbox"/> 導入の場面	<input type="checkbox"/> 展開の場面	<input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面		
	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェのプレオープンの様子をビデオカメラで撮影する。(教師) ・振り返りの授業で自分の働いている姿を視聴する。(生徒) ・自分の課題を見つけ、次回オープンに向けての目標を立てる。(生徒) 				
活用のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活躍している場面や課題点(大きな声が出ているか、接客はていねいか)を中心に撮影する。 				
児童生徒の学びの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の働いている姿を見て課題(大きな声が出ているか、接客はていねいか)を確認し、目標を立てることができた。 ・目標を画用紙に書いてまとめることができた。 ・オープンの日は、目標を意識して働くことができた。プレオープンと比べると声の大きさ、コップの持ち方、お金の受け取り方、お皿の置き方など格段に良くなった。 				
活用の様子(写真)					
実践を通して感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・録画した映像を見ることで、調理係の声が小さいために接客係の友達に伝わっていないことや、コップをお客さんに出すときに上から覆うように持っていたことに気付いた。課題を確認した後のオープンでは相手に伝わるような声で伝えたり、コップを横から持ったりすることができた。 ・映像を見ながら、笑顔が良かったところ、お客さんの動きを見てメニューを聞きに行ったりレジの前に移動したりすることができたところなど、良かった場面にも注目するようにしたことで自信につながった。 				

